

取扱説明書



2290 P DYNAMIC DIGITAL DELAY

128 のプリセット、3 つのフットスイッチ、独立した” LEARN” ボタン、サブディビジョン切り替え可能なディレイテンポ、FX インサートを搭載し、ペダルフォーマットで復活した伝説の” TC2290” デレイペダル

tc electronic

安全上のご注意 必ずお守りください

■お使いになる人やほかの人への危害、財産への損害を未然に防ぐために、必ずお守りいただくことを説明しています。

警告

- ・ **異常がある場合はただちに使用を中止する**：焦げくさいにおいがする、煙が出ている、物や液体が入ったなど、感電、火災の原因になります。直ちに使用を中止し、お買い上げの販売店へサービスをご依頼ください。
- ・ **濡らさない**：感電、火災、故障の原因になります。
- ・ **内部に異物を入れない**：水や金属が内部に入ると、感電、火災、故障の原因になります。
- ・ **分解／改造はしない**：感電、火災、故障の原因になります。

注意

- ・ **高温になる場所や熱のこもりやすい場所で使用、保管、放置しない**：火のそば、暖房器具のそば、こたつや布団の中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内などで使用、保管、放置しないでください。火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
 - ・ **乳幼児の手の届く所に置かない**：サイズの小さな付属品などは飲み込むと、窒息や胃などへの障害の原因となることがあります。万一、飲み込んだときは、ただちに医師に相談してください。
 - ・ **強い圧力を加えたり折損させたりしない**：ポケットの中やカバンの中など強い圧力がかかる場所に保管しないで下さい。火災、やけど、けが、感電、故障の原因になります。
 - ・ **ぬれた手で使用しない**：感電、火災、故障の原因になります。
 - ・ **対応した電源アダプター以外を使用しない**：指定された容量(9VDC センターマイナス 300mA 以上)の電源アダプター以外は本製品ではご利用いただけません。故障の原因になりますので、電源アダプターは必ず本書で指定された容量のアダプターのみをご利用ください。
- ※廃棄の際は、地方自治体の条例または規則に従ってください。

はじめに

この度は 2290 P DYNAMIC DIGITAL DELAY をご購入いただき、誠にありがとうございます。

2290 P DYNAMIC DIGITAL DELAY は伝説的な” TC2290 DYNAMIC DIGITAL DELAY ”を完璧に再現し、ペダルフォーマットとして蘇らせたダイナミック・デジタル・ディレイペダルです。

オリジナルユニットに搭載されていた機能とサウンドはそのままに、現代のニーズにマッチするサイズ感と機能を搭載しました。現代に蘇った最高峰のデジタルディレイサウンドをお楽しみください。

TC2290 DYNAMIC DIGITAL DELAY について

オリジナルの TC2290 DYNAMIC DIGITAL DELAY は 1985 年にリリースされました。

リリースされて間もなく、そのサウンドは瞬く間に世界中を魅了し、比類のない革命的ディレイとして多方面から賞賛されました。TC2290 はスタジオ機器としてリリースされたにも関わらず、サウンドの良さから、様々なプロデューサー、FOH エンジニア、ミュージシャンにも採用され、ディレイユニットのベンチマークを再定義し、すぐに世界中のスタジオやライブリグの業界標準ディレイになりました。

生産が完了して長い年月が経過しているにもかかわらず、昨今でも TC2290 のサウンドに魅了され、使用し続けているアーティストも少なくありません。

時代が変わるにつれて音楽性やニーズのあるサウンドにも大きな変化がありましたが、TC2290 が“デジタルディレイ”という概念を形作った、最高のデジタルディレイの 1 つであることは間違いありません。

プリセット

2290 P DYNAMIC DIGITAL DELAY には、あらかじめたくさんの素晴らしいプリセットが搭載されています。

ファクトリープリセットの内の 20 個は、1985 年のオリジナル TC2290 ユニットからインポートされたもので、残りのプリセットに関しては、TC Electronic のトーンテクニシャンが細心の注意を払って 2290 P のために特別に作成したものです。2290 P には 64 のバンクが存在し、バンク毎に 2 プリセット（A と B）が利用可能です。つまりカスタマイズ可能な 128 のプリセットがあるということです。

最初に気に入ったプリセットを見つけて、パラメーターを変更 / 保存していくことで、最終的にあなたの音楽スタイルに最も適したディレイサウンドが見つかるはずです。

2290 P 専用ソフトウェアアプリケーション

2290 P DYNAMIC DIGITAL DELAY には専用のデスクトップアプリケーション” 2290 P App ”が用意されています。

このアプリケーションではプリセットのインポート / エクスポート / 共有、MIDI マッピング、タップテンポモード、外部 EXP ペダルモディファイアーの変更など、様々なことが行えます。

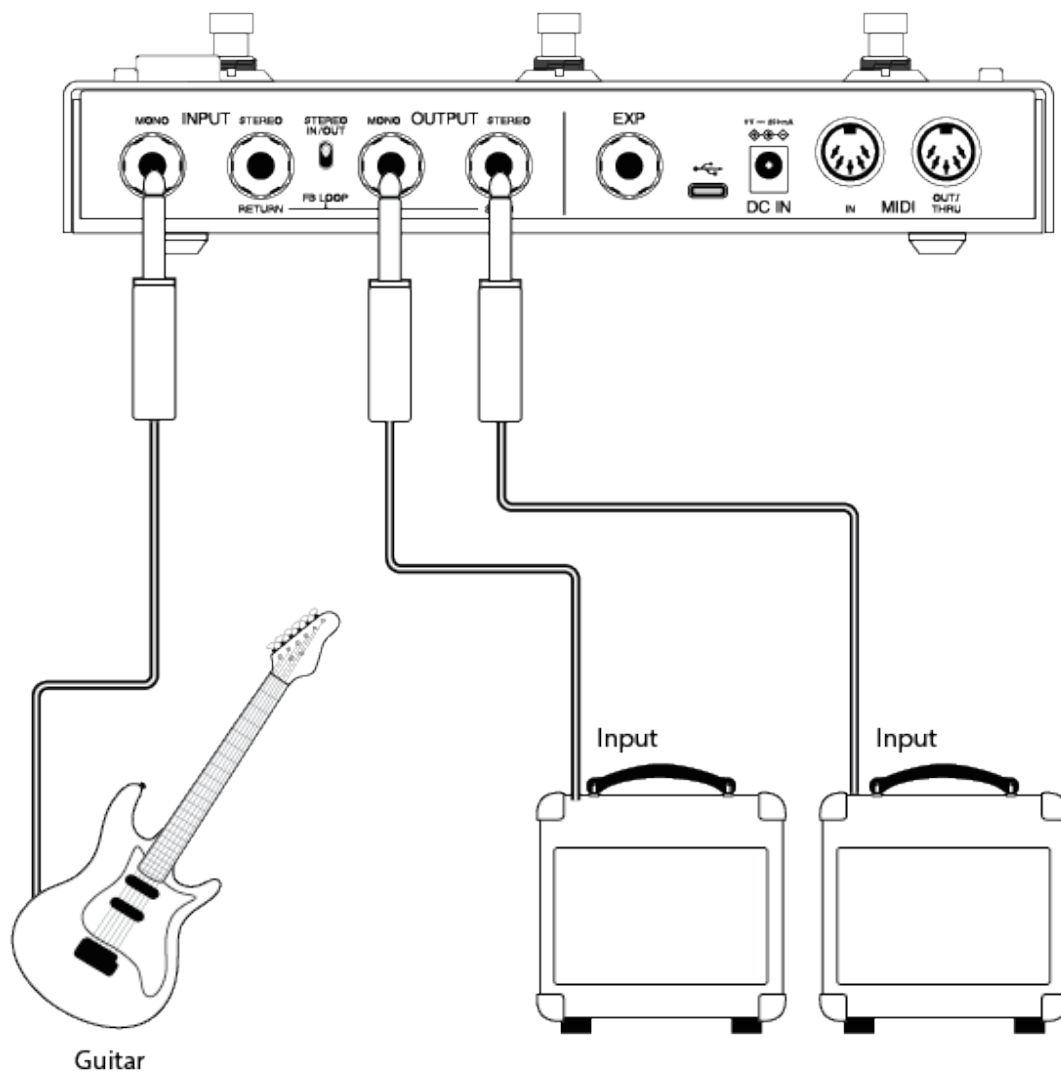
また、世界中のアーティストやプロデューサーなどが作成した無数のプリセットにアクセス可能となり、お好きなプリセットをペダル本体へインポートすることができます。

2290 Desktop App は Windows/Mac に対応しており、ペダルを USB 経由で Windows/Mac へ接続することで 2290 Desktop App からの様々なコントロールが可能となります。

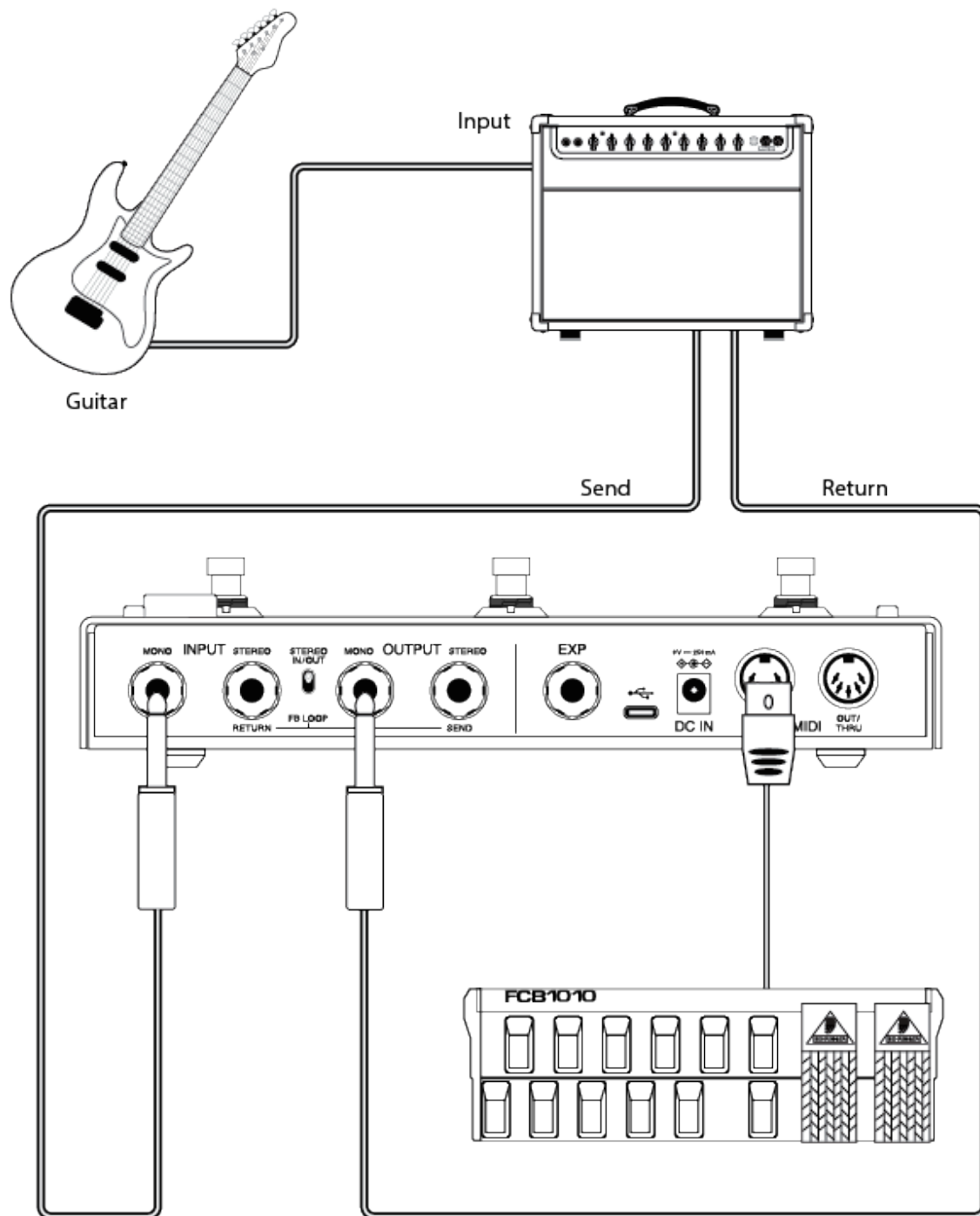
2290 P App は以下のページからダウンロード可能です。

<https://www.tcelectronic.com/p/0709-AJO>

2290 P フックアップ

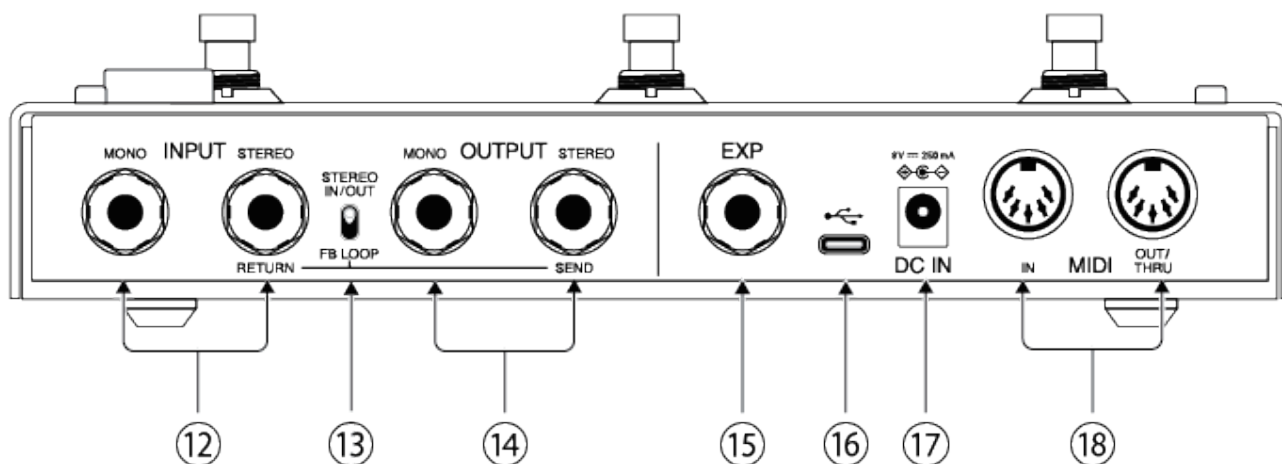
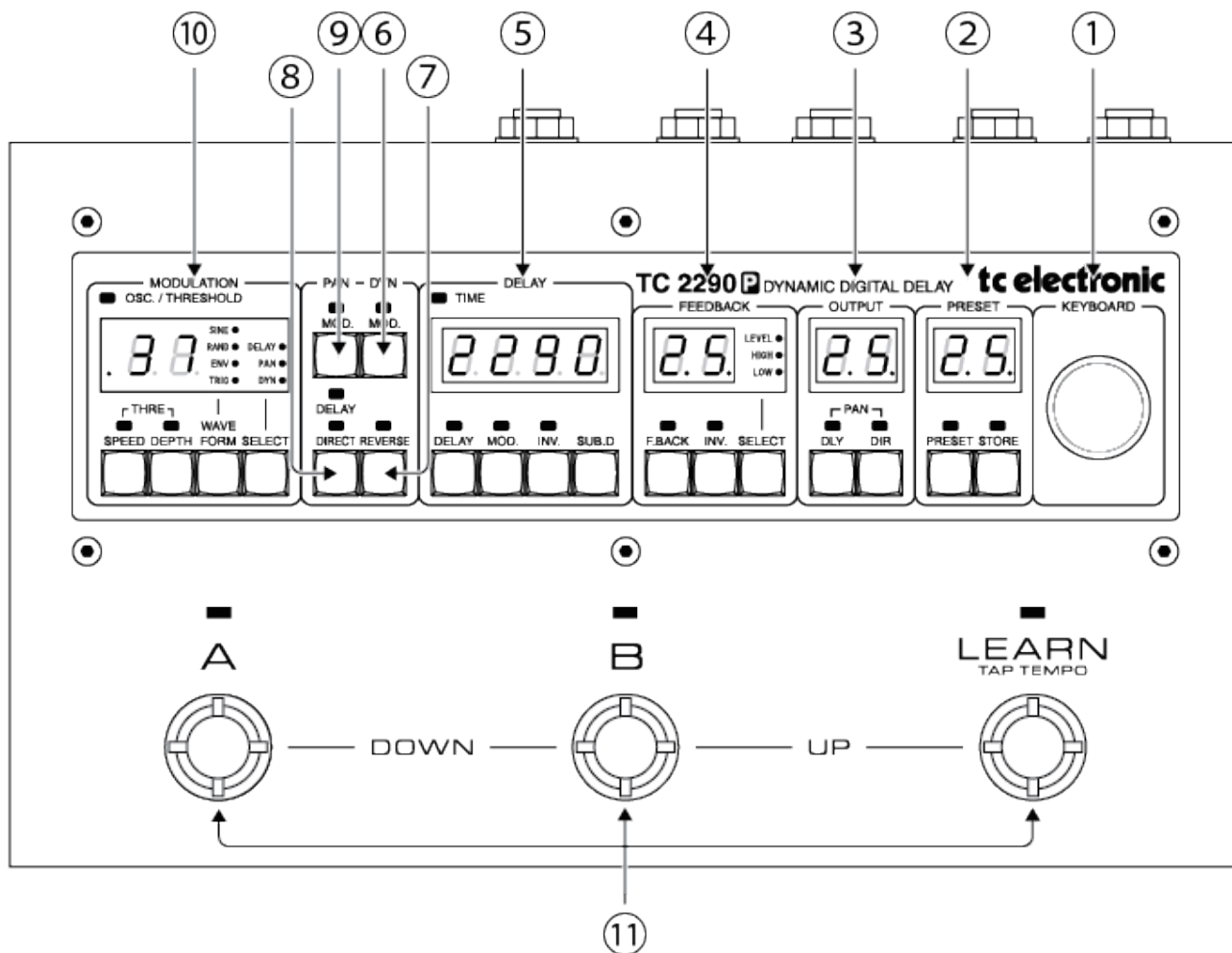


2つの OUTPUTS をそれぞれのアンプに接続したステレオセッティングです。



アンプの SEND/RETURN と MIDI コントローラーを使用したセッティングです。

2290 P DYNAMIC DIGITAL DELAY のコントロール



① **KEYBOARD エンコーダー**:ペダル上のほとんどのパラメーターを調整するために使用します。任意のボタンを押し、このエンコーダーで値を調整します。

② **PRESET セクション**

PRESET: このボタンを押してエンコーダーを回すことで64のボードから使用するボードを選択出来ます。使用するボードが決定したらPRESET ボタンを再度押すと、そのボードがロードされます。また、ボードを選択した状態でFOOTSWITCH A または B を押すことで、ボード上のプリセット A または B を直接呼び出すことができます。64 の各ボードには、それぞれ A/B のプリセットが備わっており、合計で128のプリセットが使用可能です。

STORE: このボタンを押すと現在のプリセットを保存する場所を指定できます。もう一度押すとプリセットが指定したボード上のプリセット A または B に保存されます。保存場所を指定するには、STORE ボタンを一度押した状態でエンコーダーとFOOTSWITCH A/B を使用し、任意のボード / プリセットを指定します。

③ **OUTPUT セクション**

DLY: デレイシグナル(エフェクト音)の出力レベルを調整します。DLY ボタンを2回押すことで、出力信号の位相反転(INV)が有効になります。(0=INV 非アクティブ、1=INV アクティブ)

DIR:ダイレクトシグナル(原音)の出力レベルを調整します。

PAN: DLY ボタンと DIR ボタンを同時に押すことで、LR の固定パンニング量を調整できます。パンニング量はデレイシグナルとダイレクトシグナルの両方でコントロール可能です。固定パンニング量をコントロールすることが可能なシグナルは、PAN-DYN セクションで LED が点灯しているシグナルです。パンニングを有効にするには、PAN-DYN セクションをご参考ください。

④ **FEEDBACK セクション**

SELECT: このボタンを押すことで、3つのフィードバック設定から調整するものを選択できます。SELECT を押す度に、フィードバック・レベル (LEVEL)、ハイ・カット・フィルター (HIGH)、ロー・カット・フィルター (LOW) の表示が切り替わります。

F.BACK: このボタンを押すことで、SELECT で設定したパラメーターが調整可能になります。LEVEL の場合はデレイのフィードバックレベル(リポート回数)、HIGH の場合はフィードバックへのハイカットフィルター周波数(1kHz - 20kHz)、LOW の場合はフィードバックへのローカットフィルター周波数(0 - 800Hz, 0=OFF)をそれぞれ調整可能です。

INV: このボタンを押すことで、フィードバックシグナルの位相を反転できます。

⑤ **DELAY セクション**

DELAY: デレイタイムを設定できます。押し続けるとより早く調整できます。

MOD: MODULATION セクションで設定したデレイシグナルへのモジュレーションをアクティブにします。

INV: フランジャーのスイープ開始位置とエンベロープのピッチ・シフト方向を反転します。

注意: INV は、MOD がアクティブで、MODULATION セクション内の DELAY WAVEFORM が ENV または TRIG の場合のみ有効になります。

SUB.D: デレイタイムをタップテンポのサブディビジョンとして設定出来ます。このボタンを押すたびにサブディビジョンのタイプが OFF/STRAIGHT(ノーマル)/DOTTED(付点)/TRIPLETS(3 連符)と切り替わります。サブディビジョンのタイプを選択した後に、エンコーダーを回すとサブディビジョンを変更することができます。(例: 1/1, 1/2, 1/4, 1/8, 1/16, 1/32, 1/64)

TIME: LED が点滅し、現在のデレイタイムを表示します。この LED では、手動で設定したデレイタイム、タップテンポ、SUB.D の設定からいずれかの内、最後に設定したものが表示されます。

LEPAN - DYN セクション

⑥ **DYN MOD**: MODULATION セクションで設定したダイナミックモジュレーションをアクティブにします。

⑦ **REVERSE**: ダイナミックモジュレーションの効果を反転させます。

⑧ **DELAY/DIRECT**: デレイシグナル (DELAY)、ダイレクトシグナル (DIRECT)、またはその両方に対してパンニング効果を有効にします。パンニングの固定量は OUTPUT セクションの DLY と DIR を同時に押しながらエンコーダーを回すことで変更できます。

⑨ **PAN MODULATION**: MODULATION セクションで設定したパンニング効果に対するモジュレーションをアクティブにします。

⑩ **MODULATION セクション**

SELECT: このボタンを押すことで、3つのモジュレーション設定から調整するものを選択できます。SELECT を押す度に、デレイシグナル (DELAY)、パン (PAN)、ダイナミック (DYN) の表示が切り替わります。

注意: モジュレーションスピードは、タップテンポのサブディビジョンとして設定可能です。これを行うには MODULATION セクション内の SPEED を押してから、DELAY セクションの SUB.D を押します。

WAVEFORM: このボタンを押すことで、SINE/RAND/ENV/TRIG から任意の波形を選択できます。

SPEED : 選択したモジュレーションパラメーターを調整します。

DEPTH : 選択したモジュレーションの DEPTH パラメーターを調整します。

THRE : SPEED と DEPTH を同時に押すことでスレッシュホールド値の調整が可能になります。THRE は、WAVEFORM で ENV または TRIG が選択されている場合にのみ調整可能です。

ダイナミックモジュレーション (DYN) 設定時のみ、この設定は DYN Vol Threshold(vol) と DYN Feedback Threshold(Fb) の 2 に分かれた設定となり、SPEED+DEPTH を再度押すことで切り替わります。この際に DELAY セクションに vol または Fb の表示が現れます。この DYN Feedback Threshold 設定は TRIG 波形でのみ有効になります。

⑪ FOOTSWITCH

A or B : 選択されているボード内のプリセット A または B をアクティブにします。もう一度同じフットスイッチを押すとエフェクトがバイパスされます。フットスイッチ A および B はプリセットの保存にも使用できます。PRESET セクションをご参照ください。

LEARN : MOD このフットスイッチをタップすることでテンポの設定が可能です。設定されるディレイタイムとモジュレーションスピードは SUB.D 設定に応じて変化します。また本体から出力される MIDI クロックもタップテンポに追従します。

A and B : フットスイッチ A と B を同時に押すことでボードを下にスクロールできます。(例 : ボード 22 からボード 21)

B and LEARN : フットスイッチ B と LEARN を同時に押すことでボードを上スクロールできます。

(例 : ボード 22 からボード 23)

REAR パネル

⑫ **INPUT(MONO/STEREO)** : 標準的な 6.3mm TS コネクタに対応しています。ステレオ入力には両方の端子を使用し、モノラル入力は MONO 端子のみを使用します。

⑬ **STEREO IN/OUT Switch** : このスイッチでステレオ入力とステレオ出力の機能を切り替えます。

スイッチが上 (STEREO IN/OUT) になっている場合、通常のステレオ入出力端子として機能します。

スイッチが下 (FB LOOP) になっている場合、ディレイシグナルの SEND/RETURN 端子として機能します。

⑭ **OUTPUT(MONO/STEREO)** : 標準的な 6.3mm TS コネクタに対応しています。ステレオ出力は両方の端子を使用し、モノラル出力は MONO 端子のみを使用します。

⑮ **EXP** : 外部 EXP ペダルを接続するための標準 6.3mm TRS コネクタです。

⑯ **USB** : Windows/Mac コンピューターと接続するための USB-C ポートです。2290 P App での設定やファームウェアアップデートのために使用します。

⑰ **DC IN** : 電源アダプター (9VDC センターマイナス /250mA 以上) を接続します。本製品を使用する際は、付属の電源アダプターをご利用ください。

⑱ **MIDI IN/THRU/OUT** : これらの標準 5-pin DIN タイプの MIDI 端子です。外部 MIDI デバイス (MIDI フットコントローラーや DAW など) を接続して、フットスイッチのコントロールやプリセットの切り替え、各種 FX パラメーターのリアルタイムコントロールが可能です。詳しい MIDI マッピングについては 2290 P App 上でご確認いただけます。

各種エフェクトの作り方

本ページでは 2290 P で作成が可能なエフェクトの基本的な作り方をご説明します。

これらの作り方を基準にいただいた上で、ご希望されるサウンドに近づけていただくことを推奨いたします。

【コーラスエフェクト】

幻想的なモジュレーションエフェクトです。

このコーラスエフェクトでは非常に短いディレイタイムを使用します。

以下のパラメーターを設定いただき、ご希望されるサウンドになるまで微調整を行ってください。

ファクトリープリセット (#42-B) を参考にしています。

DELAY TIME	20ms
FEEDBACK	0
DELAY MOD	ON
PAN MOD	OFF
DYN MOD	OFF
MOD SELECT	DELAY
MOD WAVEFORM	SINE
SPEED	0.75 Hz
DEPTH	30

【フランジャーエフェクト】

ジェット機のようなコーラスサウンドです。

フランジャーエフェクトではコーラスより更に短いディレイタイムを使用します。

以下のパラメーターを設定いただき、ご希望されるサウンドになるまで微調整を行ってください。

ファクトリープリセット (#43-A) を参考にしています。

DELAY TIME	10ms
FEEDBACK	50
DELAY MOD	ON
PAN MOD	OFF
DYN MOD	OFF
MOD SELECT	DELAY
MOD WAVEFORM	SINE
SPEED	0.2 Hz
DEPTH	20

【ダブラーエフェクト】

ダブラーエフェクトでは 20 ~ 80ms 程度の短いディレイタイムを使用し、複数のギターがなっているような効果を作り出します。

以下のパラメーターを設定いただき、ご希望されるサウンドになるまで微調整を行ってください。

ファクトリープリセット (#47-B) を参考にしています。

DELAY TIME	80ms
FEEDBACK	25
DELAY MOD	ON
PAN MOD	OFF
DYN MOD	OFF
MOD SELECT	DELAY
MOD WAVEFORM	RAND
SPEED	0.3 Hz
DEPTH	20

【パンニングエフェクト】

サウンドが L/R に広がるようなパンニングエフェクトです。

以下のパラメーターを設定いただき、ご希望されるサウンドになるまで微調整を行ってください。

ファクトリープリセット (#40-B) を参考にしています。(コーラスサウンドは OFF にしています。)

DELAY TIME	50ms
FEEDBACK	15
DELAY MOD	OFF
PAN MOD	ON
DYN MOD	OFF
MOD SELECT	PAN
MOD WAVFORM	SINE
SPEED	0.5 Hz
DEPTH	99
PAN ROUTING	DELAY&DIRECT

*PAN ROUTING を変更することで“DELAY のみ”、“DIRECT のみ”、“DELAY&DIRECT の両方” から任意にパンニングエフェクトを適用することができます。

【トレモロエフェクト】

トレモロエフェクトは音量をモジュレーションで操作し、音に周期的な抑揚をつけるエフェクトです。

以下のパラメーターを設定いただき、ご希望されるサウンドになるまで微調整を行ってください。

ファクトリープリセット (#46-B) を参考にしています。

DELAY TIME	0ms
FEEDBACK	0
DELAY LEVEL	0
DELAY MOD	OFF
PAN MOD	OFF
DYN MOD	ON
MOD SELECT	DYN
MOD WAVFORM	SINE
SPEED	4 Hz
DEPTH	10

【ダッキングエフェクト】

ダッキングエフェクトでは、ギターを弾いている間だけディレイサウンドが小さくなり、ギターを弾くのをやめるとディレイサウンドが戻ってくるような効果を得ることができます。

以下のパラメーターを設定いただき、ご希望されるサウンドになるまで微調整を行ってください。

ファクトリープリセット (#39-A) を参考にしています。

DELAY MOD	617ms
FEEDBACK	36
DELAY MOD	OFF
PAN MOD	OFF
DYN MOD	ON
MOD SELECT	DYN
MOD WAVFORM	TRIG
SPEED	2 Hz
DEPTH	29
THRESHOLD(VOL)	5
THRESHOLD(FEEDBACK)	9

【ゲーティングエフェクト】

ゲーティングエフェクトでは、ダイナミックエフェクトとは逆の効果を得ることができ、ギターを弾いている間だけディレイサウンドが再生され、ギターを弾くのをやめるとディレイサウンドが聞こえなくなります。

以下のパラメーターを設定いただき、ご希望されるサウンドになるまで微調整を行ってください。

ファクトリープリセット (#39-A) を参考にしています。

DELAY MOD	617ms
FEEDBACK	36
DELAY MOD	OFF
PAN MOD	OFF
DYN MOD	ON
DYN REVERSE	ON
MOD SELECT	DYN
MOD WAVFORM	TRIG
SPEED	2 Hz
DEPTH	29
THRESHOLD(VOL)	5
THRESHOLD(FEEDBACK)	9

【コンプレッシングエフェクト】

コンプレッシングエフェクトはサウンドの強弱を判別し、音量が小さいサウンドを持ち上げ、音量が大きいサウンドを圧縮します。

以下のパラメーターを設定いただき、ご希望されるサウンドになるまで微調整を行ってください。

ファクトリープリセット (#31-A) を参考にしています。

DELAY TIME	545ms
FEEDBACK	24
DELAY MOD	OFF
PAN MOD	OFF
DYN MOD	ON
MOD SELECT	DYN
MOD WAVFORM	ENV
SPEED	2.3 Hz
DEPTH	29
THRESHOLD(VOL)	30
THRESHOLD(FEEDBACK)	42

【エキスパンディングエフェクト】

エキスパンディングエフェクトでは、“ATTACK-KILL” 効果を提供します。

一般的なバイオリン奏法のようなエフェクトを使用することができます。

以下のパラメーターを設定いただき、ご希望されるサウンドになるまで微調整を行ってください。

ファクトリープリセット (#30-B) を参考にしています。

DELAY MOD	0ms
FEEDBACK	0
DELAY MOD	OFF
PAN MOD	OFF
DYN MOD	ON
DYN REVERSE	ON
MOD SELECT	DYN
MOD WAVFORM	ENV
SPEED	0.93 Hz
DEPTH	99
THRESHOLD(VOL)	30
THRESHOLD(FEEDBACK)	42

モジュレーション・フォーム・チャート

【ディレイモジュレーション (DELAY)】

SINE	コーラス / フランジャー スムーズな波形のため、一般的なコーラス / フランジャーエフェクトに向いています。 また、ロングディレイを主体としたモジュレーションディレイにも最適です。
SPEED	波形におけるスイープの速さ (Hz) をコントロールします。
DEPTH	スイープの幅とモジュレーションの深さをコントロールします。

RAND	コーラス / オートマチックダブルトラック (ダブル) ランダムなタイミングでサイン波を発生させます。周期性はありません。 ランダムパンニングとわずかなランダムディレイをセットすれば、ダブルのような効果を得ることができます。
SPEED	波形におけるスイープの速さ (レート) をコントロールします。
DEPTH	スイープの幅とモジュレーションの深さをコントロールします。

ENV	THRESHOLD コントロールを通じたピッチシフティング THRESHOLD 値以上の入力：ピッチシフトを開始 THRESHOLD 値以下の入植：ピッチシフトを終了
SPEED	ピッチシフトが行われるまでの時間をコントロールします。
DEPTH	適用されるピッチシフトの量をコントロールします。
THRESHOLD	入力信号に対するしきい値を設定します。

TRIG	シンクロナイズドフランジャースウィープなどに使用します。 THRESHOLD 値以上の入力：スイープを開始 THRESHOLD 値以下の入植：スイープを終了
SPEED	スイープの速さ (レート) をコントロールします。高く設定することを推奨します。
DEPTH	スイープの幅をコントロールします。
THRESHOLD	入力信号に対するしきい値を設定します。

【パンモジュレーション (PAN)】

SINE	ステレオパンニング 一般的なパンモジュレーションを適用することができます。 SPEED とディレイタイムがマッチした場合は、PING-PONG ディレイの様にディレイ信号が LR 交互に出力されます。
SPEED	パンスイープの速さ (Hz) をコントロールします。
DEPTH	ステレオパンニングの幅 (広さ) をコントロールします。

RAND	ランダムステレオパンニング ランダムな波形でパンニングを行います。 ランダムディレイと組み合わせることでダブルのような効果を得ることもできます。
SPEED	平均的なスイープレート (Hz) をコントロールします。
DEPTH	ステレオパンニングの幅 (広さ) をコントロールします。

ENV	エンベロープコントロールによるパンポジションの LR スイッチング 入力信号が停止 (THRESHOLD 値以下) になるたびに、パンのポジションが逆側へスイープします。
SPEED	パンスイープの速さ (Hz) をコントロールします。
DEPTH	ステレオパンニングの幅 (広さ) をコントロールします。
THRESHOLD	入力信号に対するしきい値を設定します。

TRIG	トリガード(ゲイテッド)サインパンニング 入力信号が THRESHOLD 値以下の時、パンニングが開始され、フィードバックに対してパンが適用されます。 入力信号が THRESHOLD 値以上の時、スイープは停止します。
SPEED	パンスウィープの速さ(Hz)をコントロールします。
DEPTH	ステレオパンニングの幅(広さ)コントロールします。
THRESHOLD	入力信号に対するしきい値を設定します。

【ダイナミックモジュレーション (DYN)】

SINE	トレモロエフェクト ディレイおよびダイレクトシグナルに対するトレモロエフェクトを利用できます。 REVERSE が ON の時は効果が逆になります。
SPEED	モジュレーションの速さ(Hz)をコントロールします。
DEPTH	モジュレーションの深さをコントロールします。

RAND	ランダムトレモロエフェクト ディレイおよびダイレクトシグナルに対するランダムトレモロエフェクトを利用できます。 REVERSE が ON の時は効果が逆になります。
SPEED	平均的なモジュレーションの速さ(Hz)をコントロールします。
DEPTH	モジュレーションの深さをコントロールします。

ENV	ダイナミックディレイエフェクト ディレイ信号をコンプレッション、またはオーバーコンプレッシングし、入力レベルを補正します。 これにより、レベルが均一化され、一般的なコンプレッションが掛かったようなディレイサウンドになります。 DEPTH が 25 以上の場合は、ディレイ音量がオーバーコンプレッシングされ、ダッキングディレイのようなサウンドになります。 REVERSE が ON の時はエキスパンディング効果となります。 コンプレッションとは逆に、入力信号(ディレイ、ダイレクト)それぞれの音量をより強調します。 これによりバイオリン奏法のようなソフトアタック効果を作り出すことが可能です。
SPEED	コンプレッサー / エキスパンダーエフェクトが掛かるまでの時間をコントロールします。
DEPTH	コンプレッサー / エキスパンダーエフェクトの深さをコントロールします。
THRESHOLD	入力信号に対するしきい値を設定します。

TRIG	ダイナミックダッキングディレイエフェクト 入力信号が THRESHOLD 値以上の時、ディレイサウンドの音量とフィードバックを下げます。 入力信号が THRESHOLD 値以下になると、ディレイサウンドが戻ってきます。 REVERSE が ON の時はゲーティングディレイとなります。 ダッキングディレイとは逆に、入力信号が THRESHOLD 値以上の時、ディレイサウンドの音量には影響を与えませんが、入力信号が THRESHOLD 値以下になると、ゲートが閉じたときのようにディレイサウンドの音量とフィードバックを下げます。
SPEED	ダッキング / ゲーティングエフェクトのリリースタイムをコントロールします。
DEPTH	ダッキング / ゲーティングエフェクトサプレッションの深さをコントロールします。
THRESHOLD(Volume)	入力信号に対するしきい値を設定します。
THRESHOLD(Feedback)	フィードバックサプレッションに対するしきい値を設定します。

仕様

INPUT/RETURN	6.3mm TS アンバランス x 2、1M Ω
OUTPUT/SEND	6.3mm TS アンバランス x 2、1k Ω
EXP PEDAL IN	6.3mm TRS
MIDI IN OUT/THRU	5-PIN DIN x2
USB	USB-C コネクター
Bypass mode	True Bypass
電源	スタンダード 5.5 x 2.1 mm DC
消費電流	9V センターマイナス 250 mA(アダプター付属、電池駆動不可)
サイズ(H x W x D)	54 x 233 x 137 mm
重さ	0.97 kg

TC Electronic 総輸入販売元

株式会社エレクトリ

〒105-0022

東京都港区海岸 2-7-70

HP:<https://www.electori.co.jp/>

※本ドキュメントの弊社以外のサイトや SNS における 2 次配布は禁止致します。

また、弊社の許可なく本ドキュメント内の表現、データを使用することを禁止致します。

tc electronic